MODELLISTA

MSD20-42001
フロントグリルイルミネーション
取付・取扱要領書

この度はMODELLISTAフロントグリルイルミネーションをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
本書は本商品の取付け、取扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
取付け前に必ずお読みのうえ、正しい取付け、取扱いを実施してください。

★ 本商品は登録後架装を前提としています。

■ 品番・適合車種

品 番	適合車種	備 考
MSD20-42001	RAV4	-

・最新の適合情報は MODELLISTA カタログサイトをご覧ください。https://www.modellista.co.jp/
・フロントバンパーガーニッシュと同時装着する場合は、本商品を先に取付けてください。

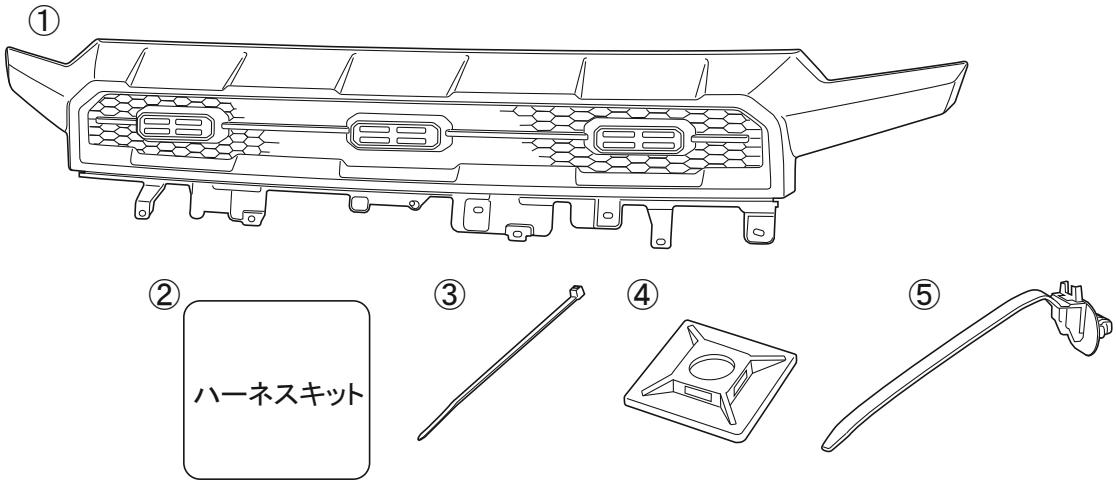
⚠ **注意**：エンジンルーム内、ラジエータキャップ付近に配線を通したり、部品を取付ける際、腕等がラジエータキャップに接触しやすく、上着など着用している場合にラジエータキャップが緩んだことに気づけない場合があります。ラジエータキャップと接触し緩んだ場合、オーバーヒートに繋がる可能性があります。
ラジエータキャップに限らず、用品取付作業後には作業部位周辺に異常がないかご注意ください。

■ 構成部品

No.	部 品 名	品 番	個 数	備 考
①	フロントグリルイルミネーション		1	
②	ハーネスキット		1	小袋
③	結束バンド		17	L=150
④	マウントベース		1	
⑤	プッシュマウントタイ		3	車体側用

※確認・本商品が到着後、 すぐに本体に破損がないこと、 付属品が全てそろっていることを確認してください。

□ 構成部品図

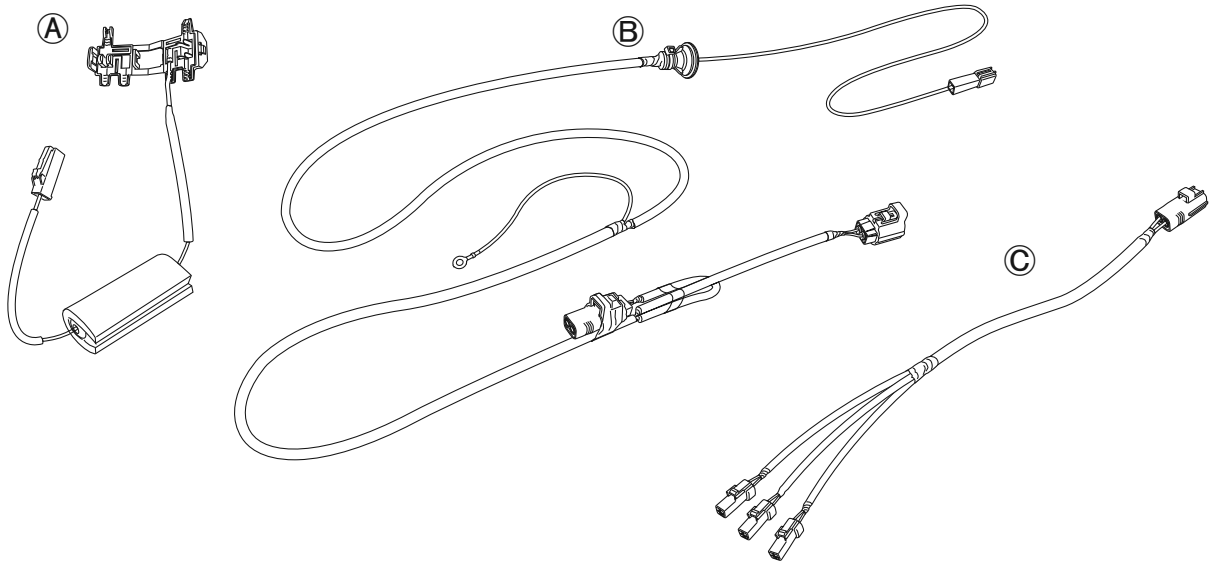


■ ②ハーネスキット 構成部品

No.	部 品 名	品 番	個 数	備 考
Ⓐ	電源ハーネス		1	車体側用
Ⓑ	中間ハーネス		1	車体側用
Ⓒ	バンパーハーネス		1	フロントグリルイルミネーション裏側用

※確認・本商品が到着後、 すぐに本体に破損がないこと、 付属品が全てそろっていることを確認してください。

□ 構成部品図



取付け上のご注意（取付け作業者の方へ）

作業を行なう前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行なってください。

⚠ 警告	この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行なうと生命の危険または、重傷等を負う可能性がある内容について記載しています。
⚠ 注意	注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行なうと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。
アドバイス	スピーディに作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

⃠ やってはいけないこと　　❗ 必ず行なっていただくこと

⚠ 警告

⃠本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故を招くおそれがありますので絶対に行なわないでください。

❗本商品の取付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行なってください。

❗取付け作業は規定トルクに従って、確実に締め付けてください。締め付けが足らないと脱落などにより、重大な事故や故障を招くおそれがあります。

⚠ 注意

❗本商品を取付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。

❗本商品の取付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行ない、同時に取付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行なってください。取付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について(別紙の脱脂作業要領も参考にしてください。)

❗脱脂作業を行なう際は、清潔なウエスを使用して、イソプロピルアルコール(IPA)を使用して確実な脱脂を行なってください。

❗脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂ができず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

❗脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。

❗両面テープは一度貼付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼付けはできません。

❗本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着力が著しく低下します。
温度が足らないと両面テープが剥がれます。

❗両面テープの圧着は49N(5kgf)以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行なってください。
圧着が足らないと両面テープが剥がれます。

⃠本商品の取付け後24時間は、洗車や水(水拭きを含む)・雨などが、かからないようにしてください。
装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

取付けが終わったら

❗取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。

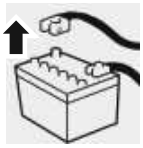
❗バッテリー復元作業終了後に、車両システムによっては初期化が必要な場合があります。車両修理書を参考に初期化作業を行なってください。
※車両システムの初期化は、GTS等のツールが必要な場合があります。

❗本取付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行なってください。

LEDイルミネーションランプ配線取付け上のご注意

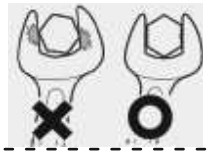
❗ビニールテープをご使用の際は、必ず難燃性の耐熱ビニールテープを使用してください。
推奨品：V9650-0484 （耐熱ビニールテープ・灰色）

❗バッテリー復元作業後は、機能部品に初期化や調整が必要な場合があります。 取付け作業後は必ず該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、初期化・調整作業の有無をご確認ください。



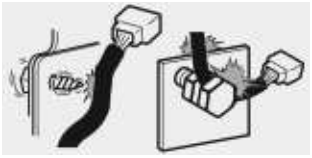
取付ける前に

・作業前に必ずバッテリーのマイナス端子を外す。



部品を取付ける際は

・部品サイズにあった工具を使用する。

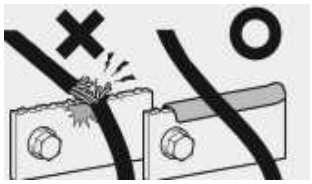


・部品の裏側に注意して、配線の噛み込みやビスの接触、断線に十分に注意する。



配線の取りまわしは

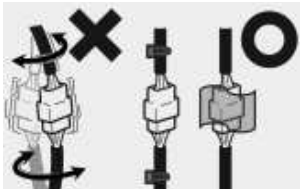
・コネクタは必ず本体持って外し、配線は引っ張らない。



・バリやエッジ部はガムテープ等で保護をする。



・コネクタは「カチッ」と音がするまで確実に接続して、配線は無理なチカラで引っ張らない。



配線のクランプは

・結束バンドは配線が動かない程度に締めて、締めすぎない。
・結束バンドの余った部分は、エッジにならないようにカットする。
・カットした端末がほかの配線と接触しないようにする。
・コネクタが振動により異音がしないように確実に固定する。

⚠ **注意** : エンジンルーム内、ラジエータキャップ付近に配線を通したり、部品を取付ける際、腕等がラジエータキャップに接触しやすく、上着など着用している場合にラジエータキャップが緩んだことに気づけない場合があります。ラジエータキャップと接触し緩んだ場合、オーバーヒートに繋がる可能性があります。
ラジエータキャップに限らず、用品取付作業後には作業部位周辺に異常がないかご注意ください。

⚠ **注意** : バッテリー接続中に作業を行なう際は、エアバックセンサー等に衝撃を与えないように、十分に注意して作業を行なってください。

■ 目次

1. 表紙、品番・適合車種 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
2. 構成部品、構成部品図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
3. 取付け上のご注意(取付け作業者の方へ)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
4. LEDイルミネーションランプ配線取付け上のご注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
5. 目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品、保証について、取付け構成図・・・・・・・・・・ 5
6. 取付け準備・取付け要領・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6～17
7. 取付け完了後の点検・注意事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
8. 配線図・・ 19

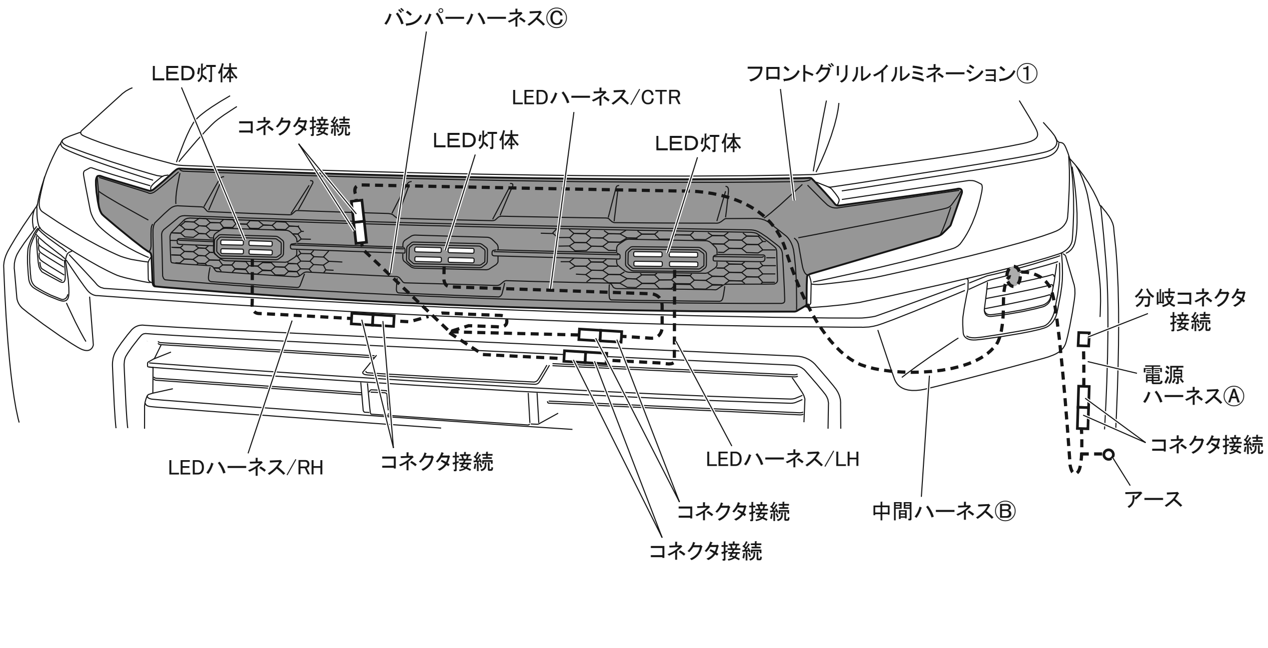
■ 取付けに必要な工具・保護具・消耗品

・一般工具・プラスドライバー・クリップリムーバー
・配線通し
・軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ・養生テープ
・イソプロピルアルコール(IPA)・清潔なウエス

■ 保証について

本商品は、1年・20,000kmの保証を実施致します。
(1年または20,000km走行時点のいずれか早い方まで)
※保証の詳細はMODELLISTAカタログサイト＜https://www.modellista.co.jp/＞
「保証について」をご覧ください。

■ 取付け構成図



【重要】

ラジエータキャップの緩みに注意してください。

□ フロントグリルイルミネーションの取付け準備 -1

1. バッテリーの(－)端子を取外す。
2.車両からフロントバンパーを取外す。

アドバイス：フロントバンパーの取外しの詳細は該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)をご参照ください。
取外した車両ビス類は再使用します。

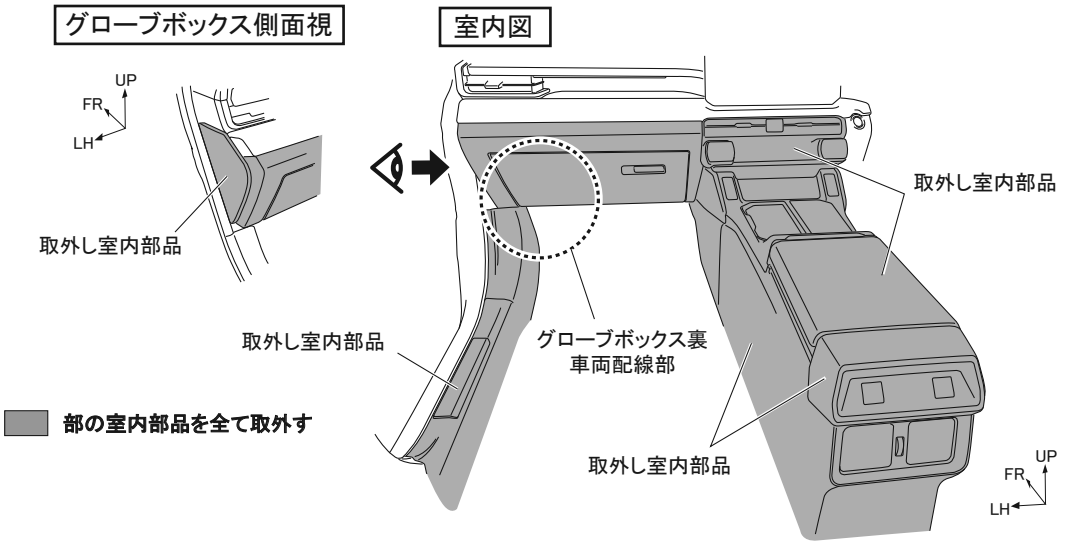
□ ハーネスの配線作業

※フロントバンパーガーニッシュを装着済みの場合は、図10から作業を行なってください。

1. 図1のようにグローブボックス裏の車両配線部へアクセス出来るように ■ 部の室内部品を取外す。

アドバイス：室内部品の取外しの詳細は該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)をご参照ください。
取外した車両部品は復元、再使用しますので、キズ付きや紛失などに注意して大切に保管してください。

図1



2. 図2のように助手席側フロントホイールハウスのフェンダーライナーをめくり、ダッシュ貫通穴の車両グロメットを取外す。

図2

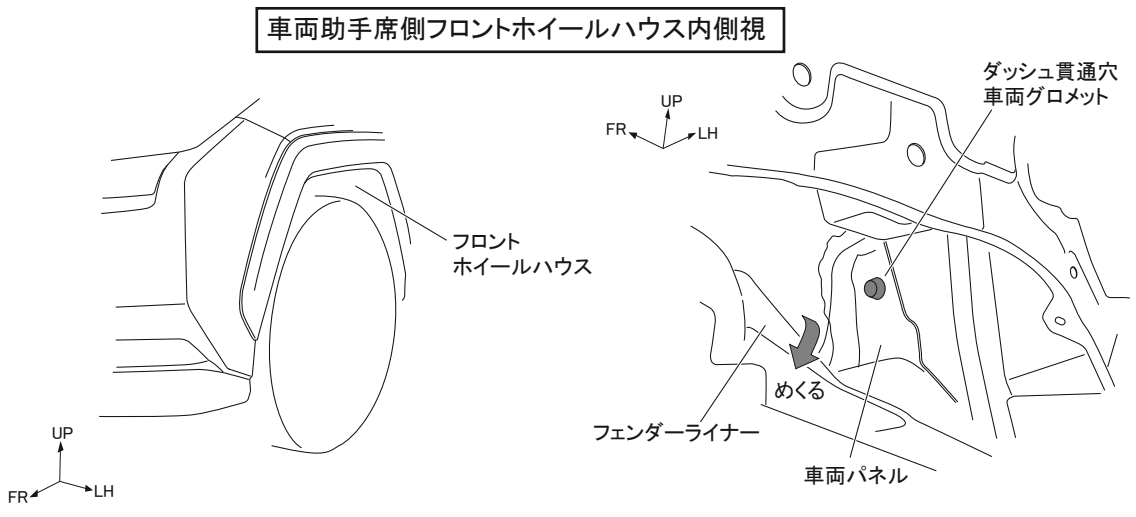
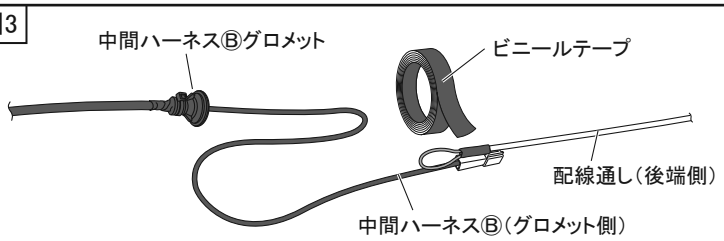
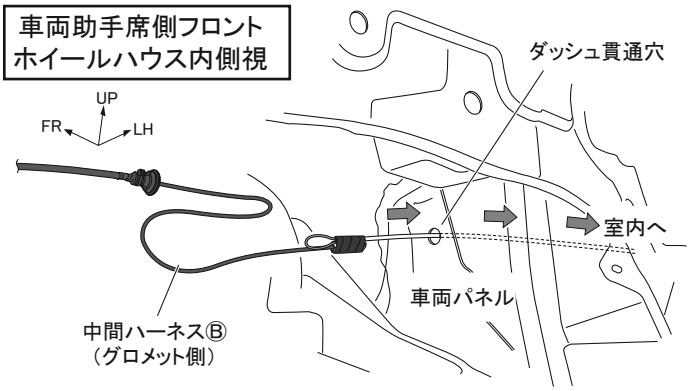


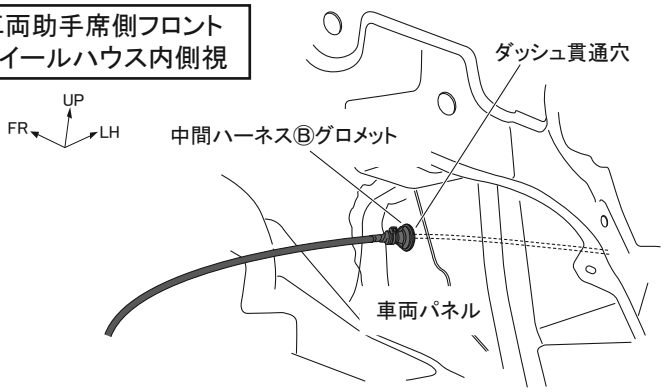
図3



車両助手席側フロント
ホイールハウス内側視



車両助手席側フロント
ホイールハウス内側視



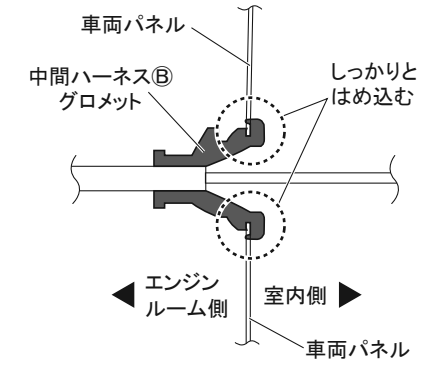
3. 図3のように中間ハーネスⒷのグロメットが付いている側の先端のコネクタ(1P)へ配線通しの後端をビニールテープで固定する。
4. 図3のように配線通しの先端をダッシュ貫通部の穴から室内へ送り込み、中間ハーネスⒷの先端を室内側から引き込む。

アドバイス：送り手と受け手の2人作業で行うと作業が容易です。

5. 図3のように中間ハーネスⒷのグロメット部をダッシュ貫通部の穴に取付ける。

アドバイス：水漏れの原因となりますので図を参考にしっかりとはまっていることを確認してください。

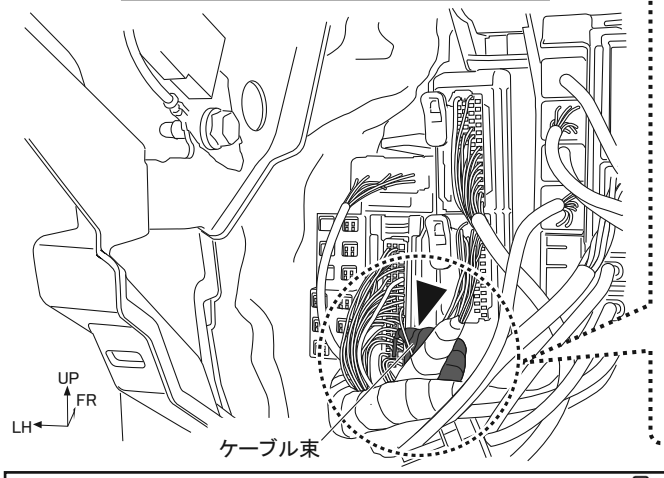
取付部断面図

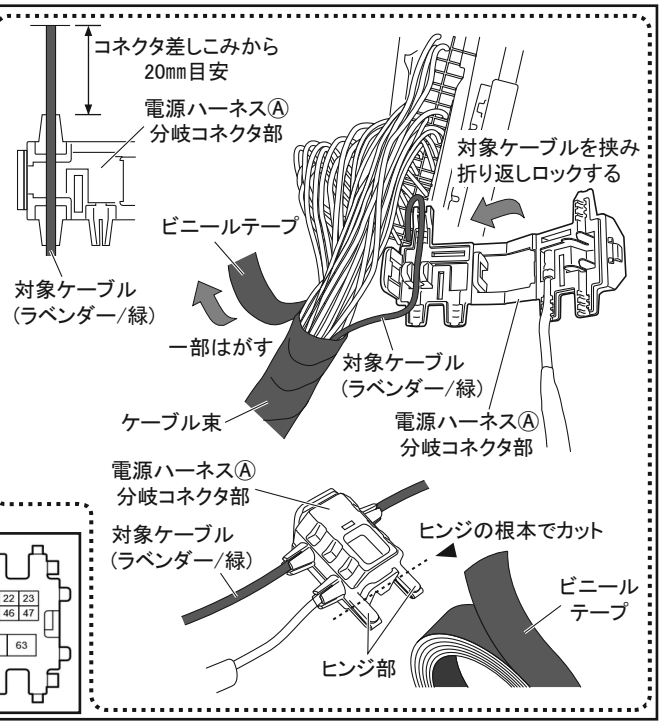


6. 図4のようにグローブボックス裏の車両配線部の図示位置の束になっているケーブルの先端部のビニールテープをめくり、対象ケーブルを引き出す。
7. 図4のように引き出したケーブルへ電源ハーネスⒶ分岐コネクタ部を取付けロックする。（1箇所）
8. 図4のようにロックした電源ハーネスⒶ分岐コネクタのヒンジ部をカットし、ビニールテープで巻く。

図4

室内グローブボックス裏車両配線部





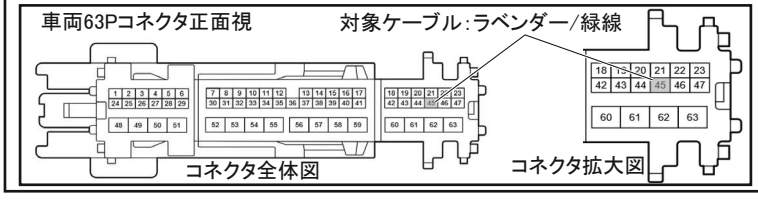
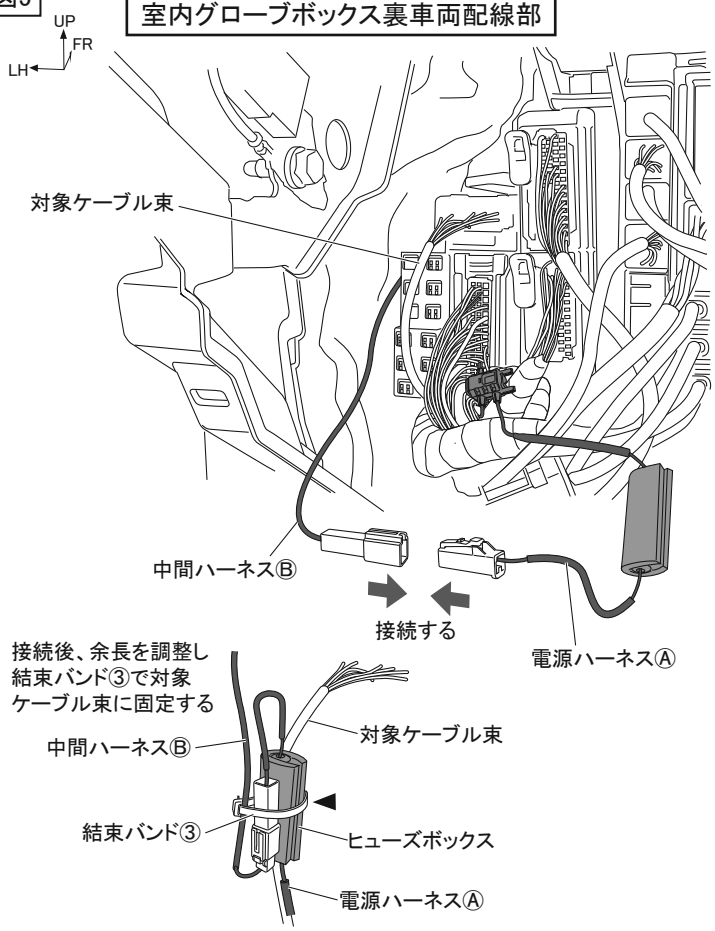


図5

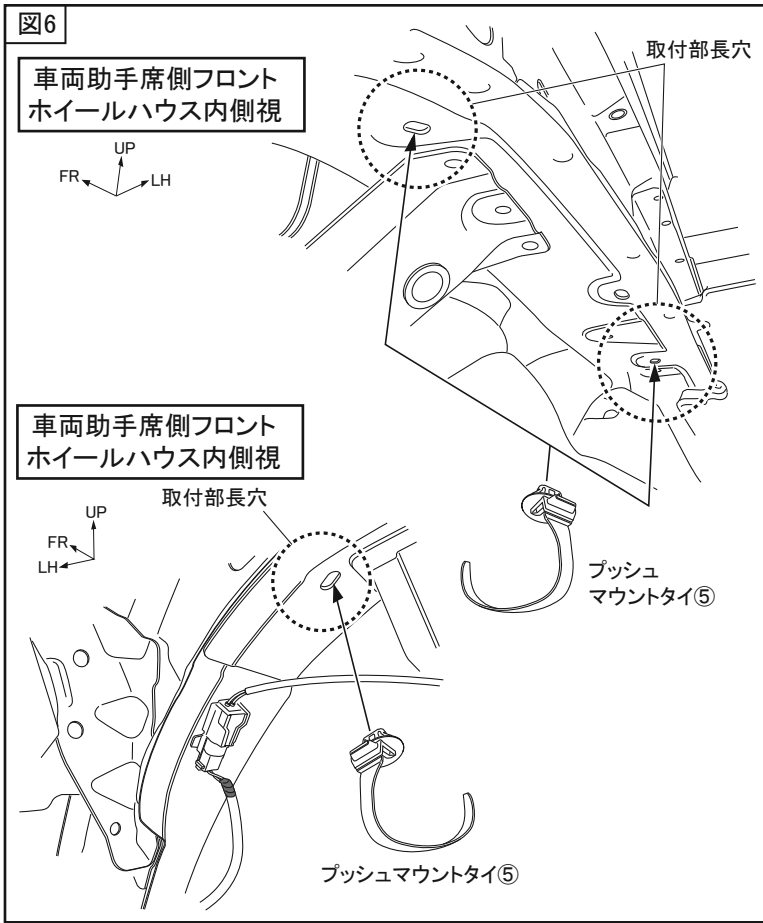


※結束バンド③の固定位置を(▲)印で表しています。 (1箇所)

9. 室内側へ送り込んだ中間ハーネスⒷから配線通しを取外す。
10. 図5のように電源ハーネスⒶと中間ハーネスⒷを接続し、余長を調整し結束バンド③で対象ケーブル束に固定する。
11. 電源ハーネスⒶエレタップ固定の際、引き出したり、取外したコネクタ類を復元する。

⚠ **注意**: 結束バンド③にて固定する際は接続したコネクタとヒューズボックスを束ねて固定してください。
結束バンド③にて固定する際は、余長カット部がほかの配線と接触しないように固定してください。

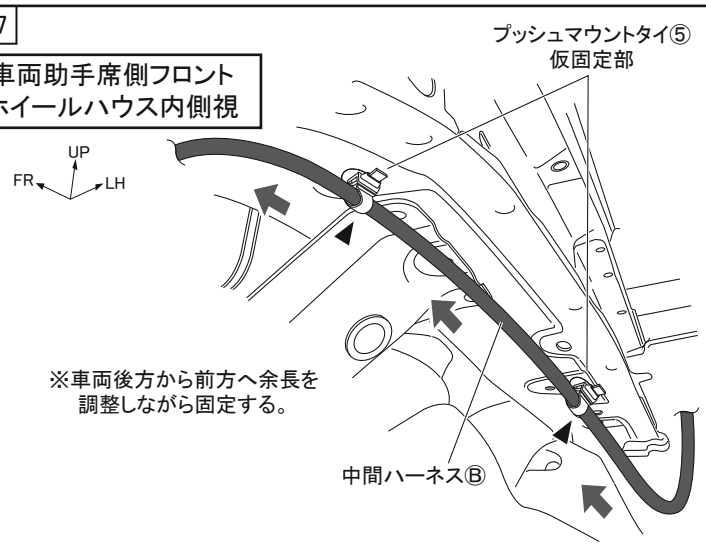
図6



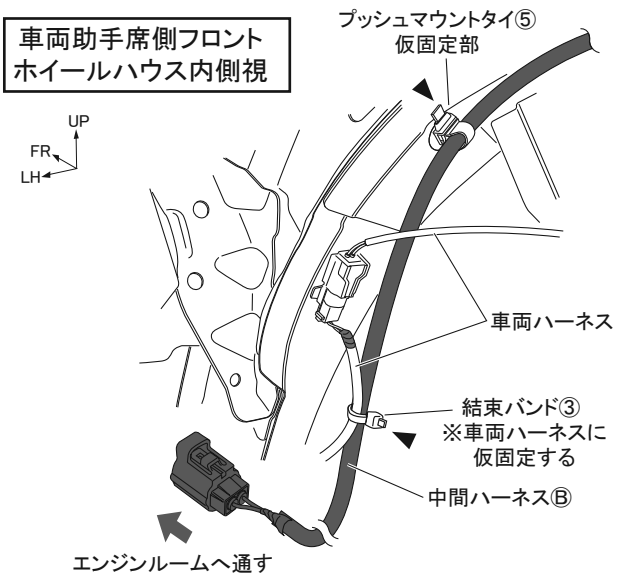
12. 図6のように車両助手席側ホイールハウス内の長穴へプッシュマウントタイ⑤を取付ける。(3箇所)

図7

車両助手席側フロント
ホイールハウス内側視



車両助手席側フロント
ホイールハウス内側視



※プッシュマウントタイ⑤、結束バンド③の仮固定位置を(▲)印で表しています。(4箇所)

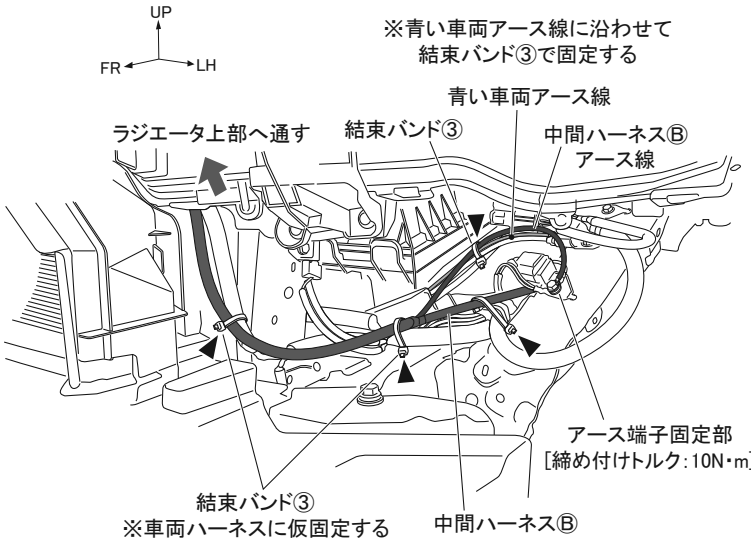
13. 図7のように取付けたプッシュマウントタイ⑤で車両後方から前方へ中間ハーネスⒷの余長を調整しながら仮固定する。(3箇所)

アドバイス : 図9の作業を行った後に本固定すると余長調整が容易です。

14.図7のように中間ハーネスⒷを車両ハーネスに結束バンド③で仮固定(1箇所)し、ホイールハウス内から、エンジンルーム前方へ通す。

図8

助手席側ヘッドライト下部



※結束バンド③の仮固定位置を(▲)印で表しています。 (4箇所)

15. 図8のように中間ハーネスⒷのアース線を図示の要領で取付ける。

⚠ **注意**: アース線を固定するボルトの締め付けは、車両修理書に従い、規定のトルクで行なってください。
[締め付けトルク:10N・m]

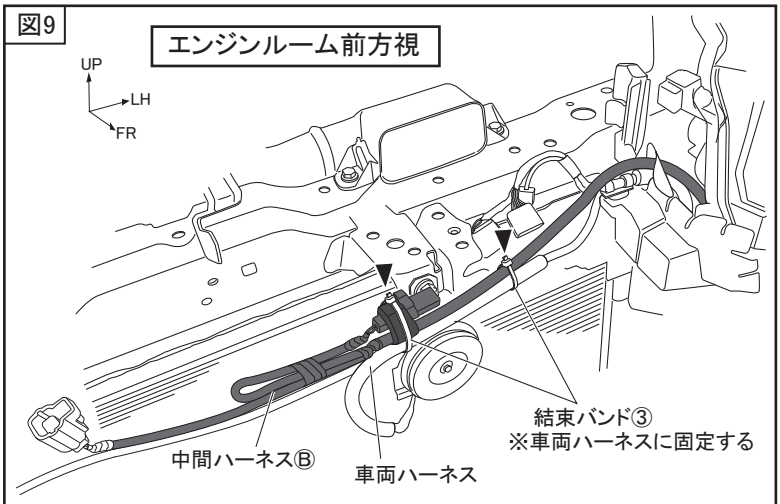
16. 図8のように中間ハーネスⒷの余長を調整しながら結束バンド③で仮固定する。
(4箇所)

アドバイス : 図9の作業を行った後に本固定すると余長調整が容易です。

17.図8のように中間ハーネスⒷをラジエータ上部へ通す。

⚠ **注意**: 結束バンド③にて固定する際は、余長カット部がほかの配線と接触しないように固定してください。

図9

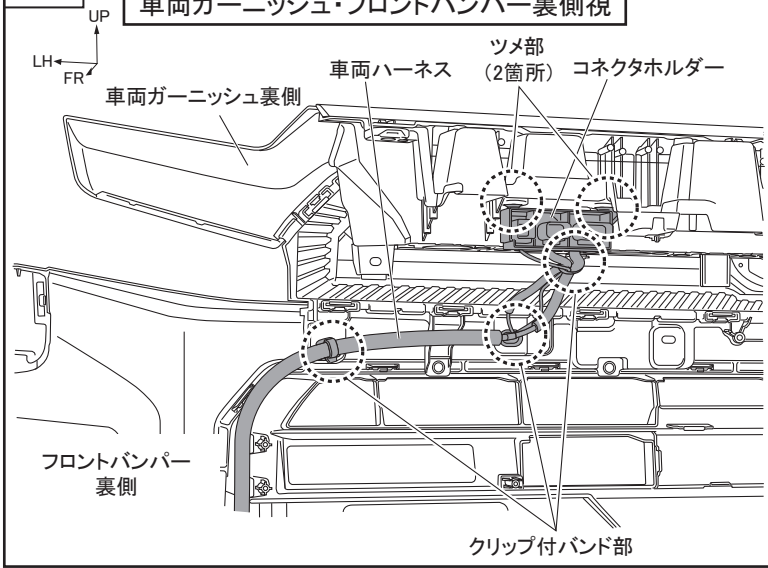


※結束バンド③の固定位置を(▲)印で表しています。 (2箇所)

18. 図9のように中間ハーネスⒷの余長を調整しながら結束バンド③で固定する。 (2箇所)
19. 図7、図8で仮固定した結束バンド③を本固定する。

⚠ **注意**: 結束バンド③にて固定する際は接続したコネクター嵌合部で行ってください。結束バンド③にて固定する際は、余長カット部がほかの配線と接触しないように固定してください。

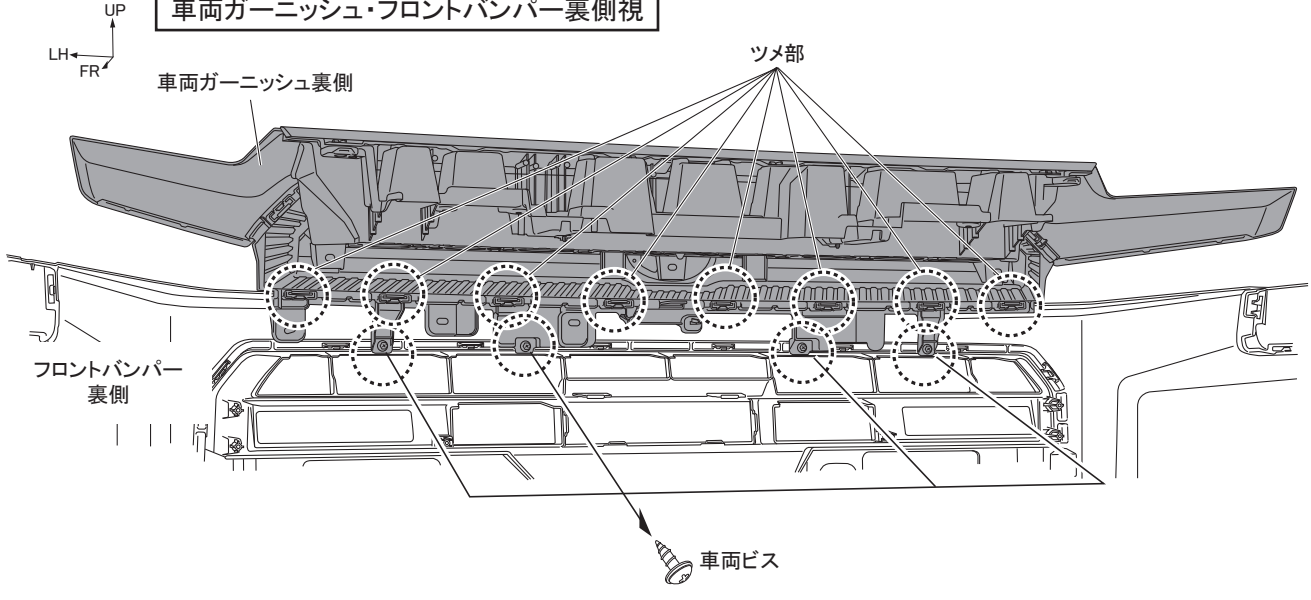
図10



□ フロントグリルイルミネーションの取付け準備 -2

1. 図10のように車両ガーニッシュ裏側のコネクタホルダーを取外す。
2. 図10のようにクリップ付バンド部(3箇所)を外し、車両ハーネスを取外す。
3. 図11のようにフロントバンパー裏側の車両ガーニッシュを固定している車両ビスを取外す。 (4箇所)
4. 図11のようにフロントバンパーのツメ(8箇所)を外し、フロントバンパーから車両ガーニッシュを取外す。

図11

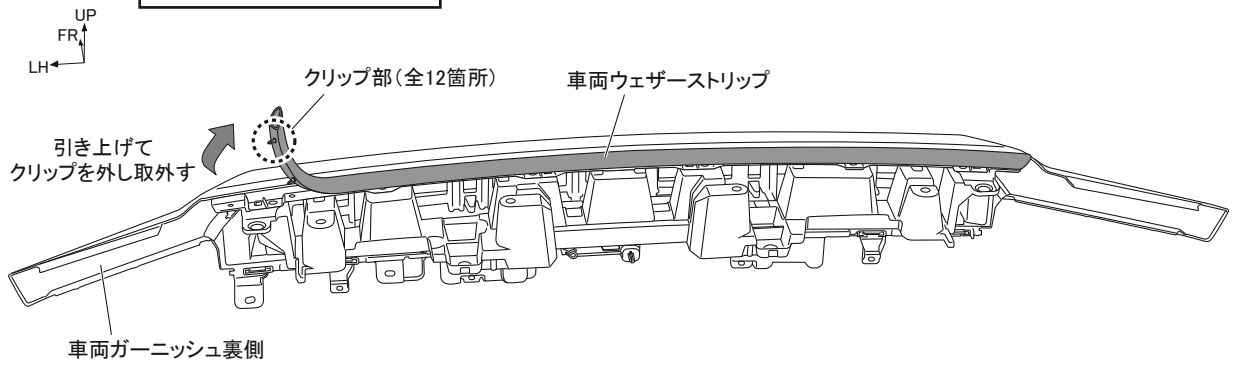


5. 図12のように車両ガーニッシュ上面の車両ウェザーストリップを取外す。

アドバイス：取り外した車両ウェザーストリップ、クリップは再利用しますので、キズ付きや紛失などに注意して大切に保管してください。

図12

車両ガーニッシュ裏側視

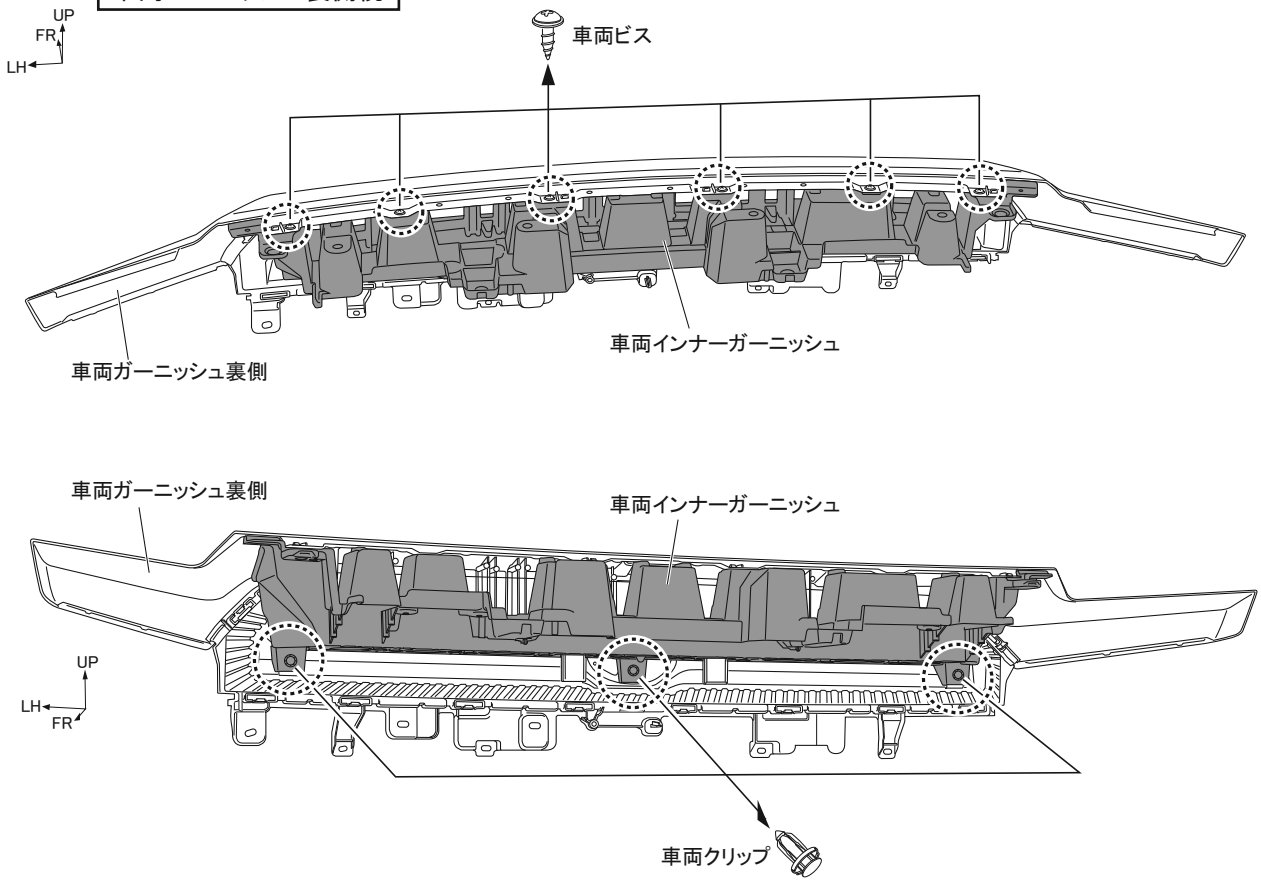


6. 図13のように車両ガーニッシュ上面の車両インナーガーニッシュを固定している車両ビスを取外す。（6箇所）
7. 図13のように車両ガーニッシュ裏側下部の車両インナーガーニッシュを固定している車両クリップ（3箇所）を取外し、車両インナーガーニッシュトを取外す。

アドバイス：取り外した車両インナーガーニッシュ、車両ビス、車両クリップは再利用しますので、キズ付きや紛失などに注意して大切に保管してください。

図13

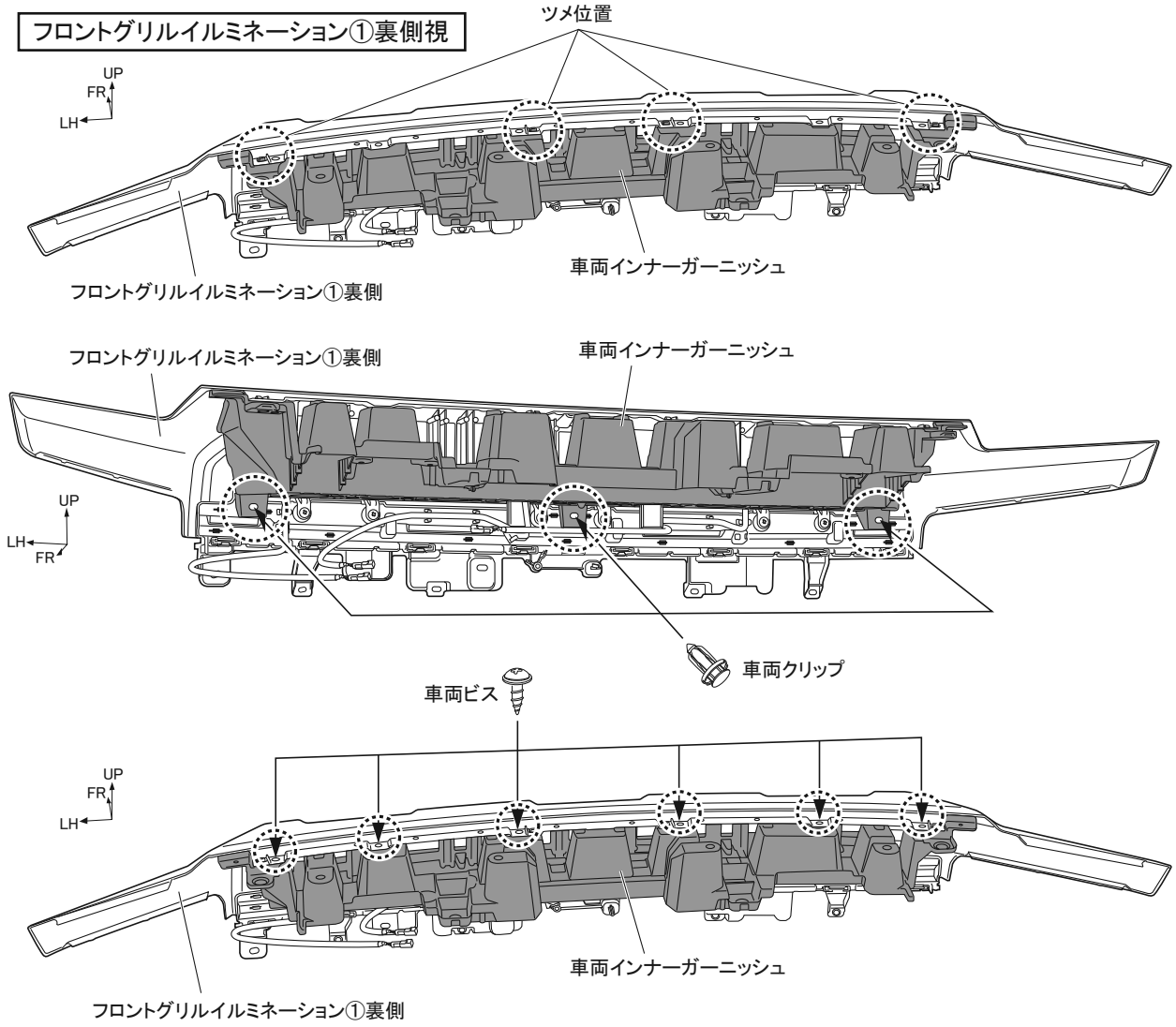
車両ガーニッシュ裏側視



□ フロントグリルイルミネーションの取付け準備 -3

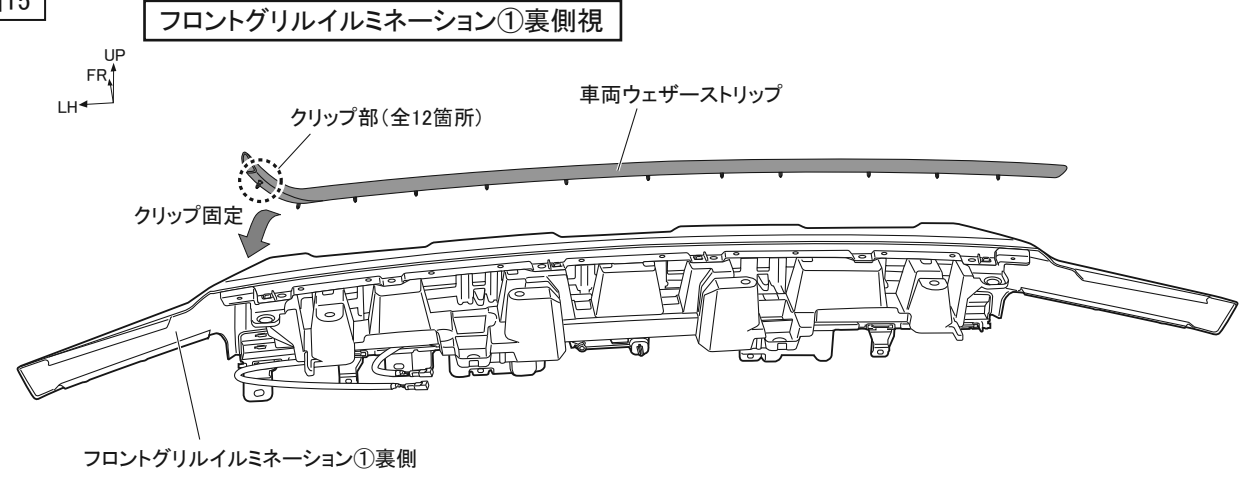
1. 図14のように車両インナーガーニッシュをフロントグリルイルミネーション①裏側へ上面のツメ位置(4箇所)を合わせ車両クリップ(3箇所)で固定する。
2. 図14のようにフロントグリルイルミネーション①上面を車両ビスで固定する。(6箇所)

図14



3. 図15のようにフロントグリルイルミネーション①上面への車両ウェザーストリップを取付ける。

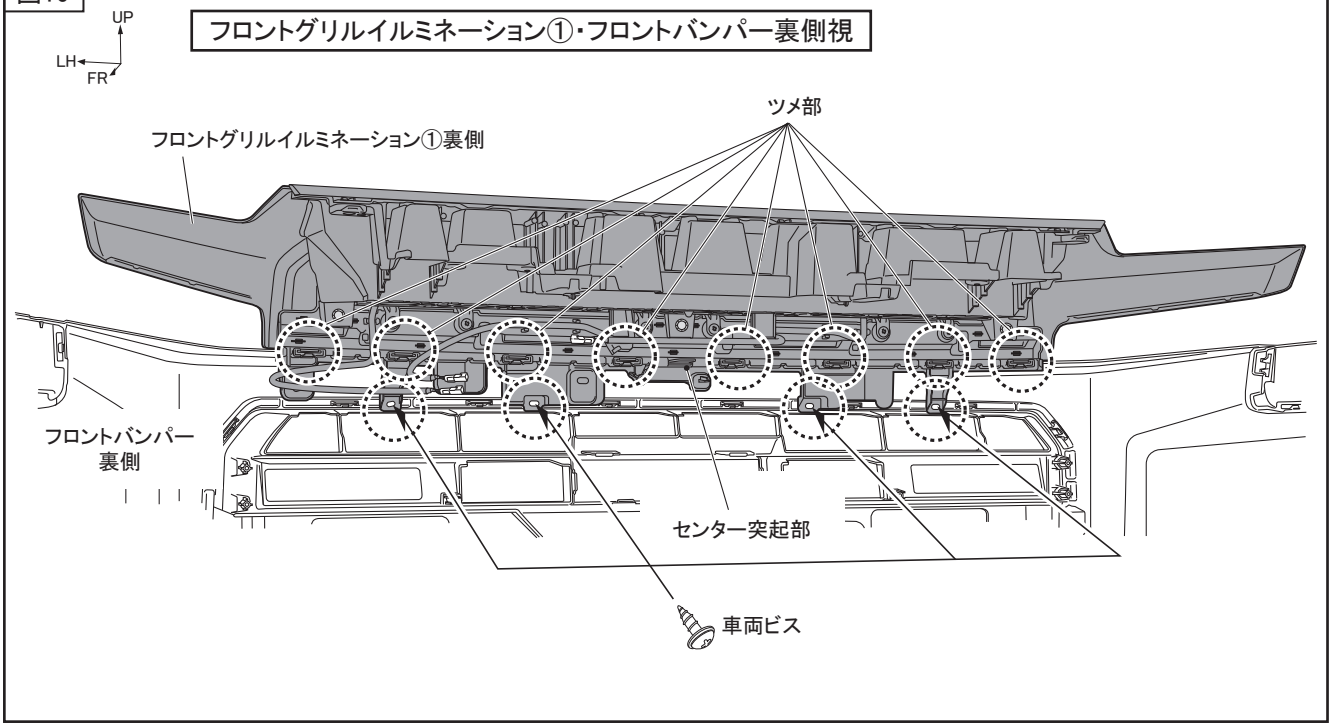
図15



□ フロントグリルイルミネーションの取付け

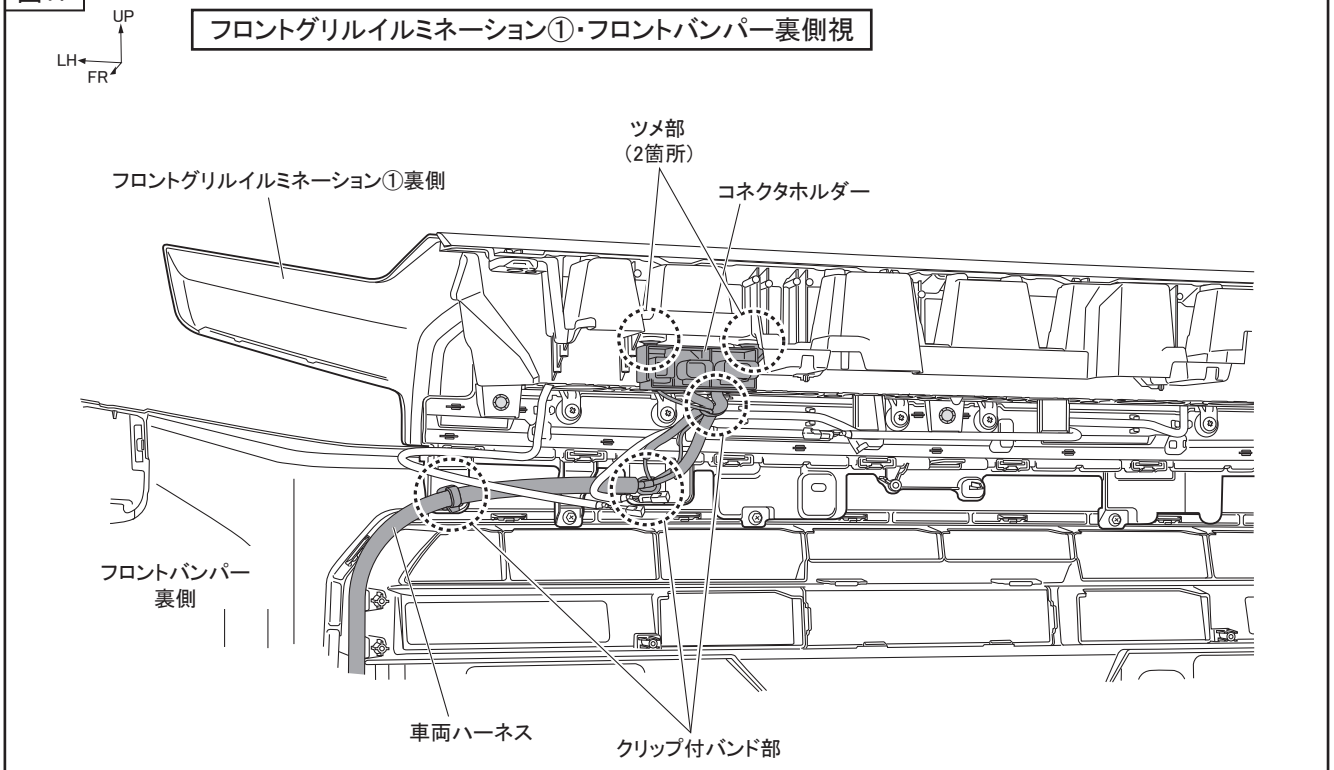
1. 図16のようにフロントバンパー裏側のツメ(8箇所)にフロントグリルイルミネーション①を合わせてあてがい、ツメを差し込み固定する。(4箇所)
   その際、フロントバンパーセンター部の突起を基準に合わせてください。
2. 車両ビスで固定する。(4箇所)

図16



3. 図17のようにフロントグリルイルミネーション①裏側のヘコネクタホルダーを取付ける。
4. 図17のように車両ハーネスのクリップ付バンド部を取付ける。(3箇所)

図17



□ バンパーハーネスⒸの配線 -1

1. 図18のようにフロントグリルイルミネーション①車両インナーガーニッシュ部のマウントベース④貼付部の汚れを取除き、イソプロピルアルコール(IPA)で一方向に拭いて脱脂し、貼付ける。

⚠ **注意** : 脱脂を行なう際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残りテープが剥がれる原因となります。

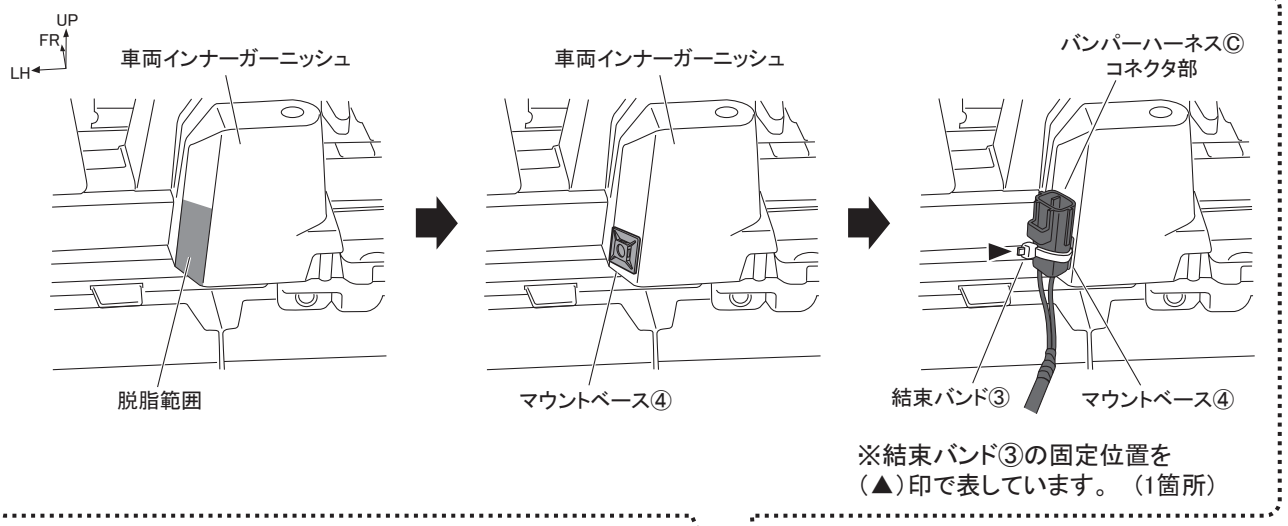
アドバイス : 脱脂後は、十分に乾燥させてください。 ※脱脂作業要領書を合わせて確認してください。

2. 図18のように取付けたマウントベース④へバンパーハーネスⒸのコネクタ部を結束バンドで固定する。（1箇所）

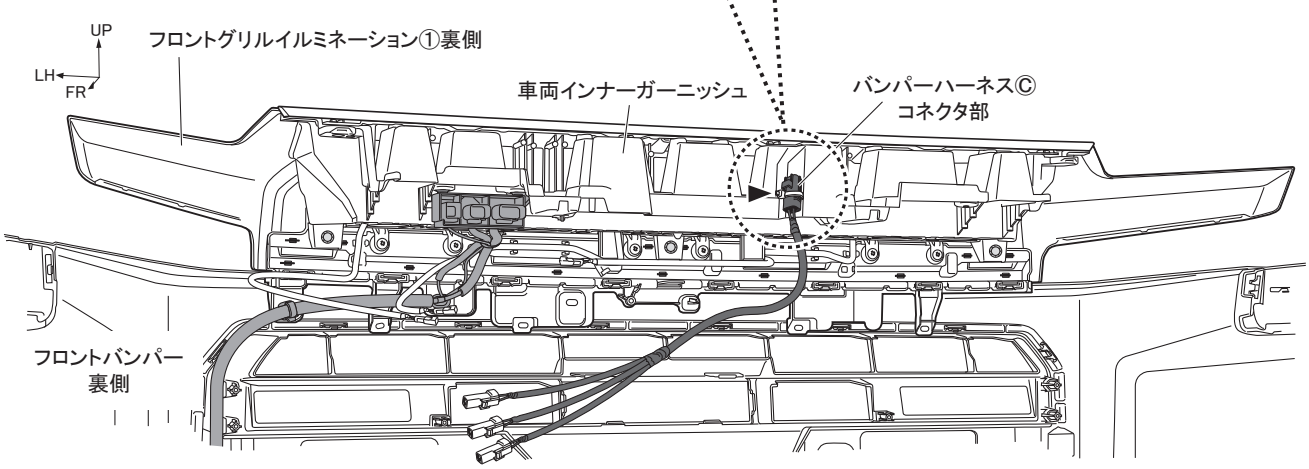
⚠ **注意**: 結束バンド③にて固定する際は接続したコネクタ嵌合部で行ってください。
結束バンド③にて固定する際は、余長カット部がほかの配線と接触しないように固定してください。

図18

フロントグリルイルミネーション①・フロントバンパー裏側視



※結束バンド③の固定位置を（▲）印で表しています。（1箇所）



※結束バンド③の固定位置を（▲）印で表しています。（1箇所）

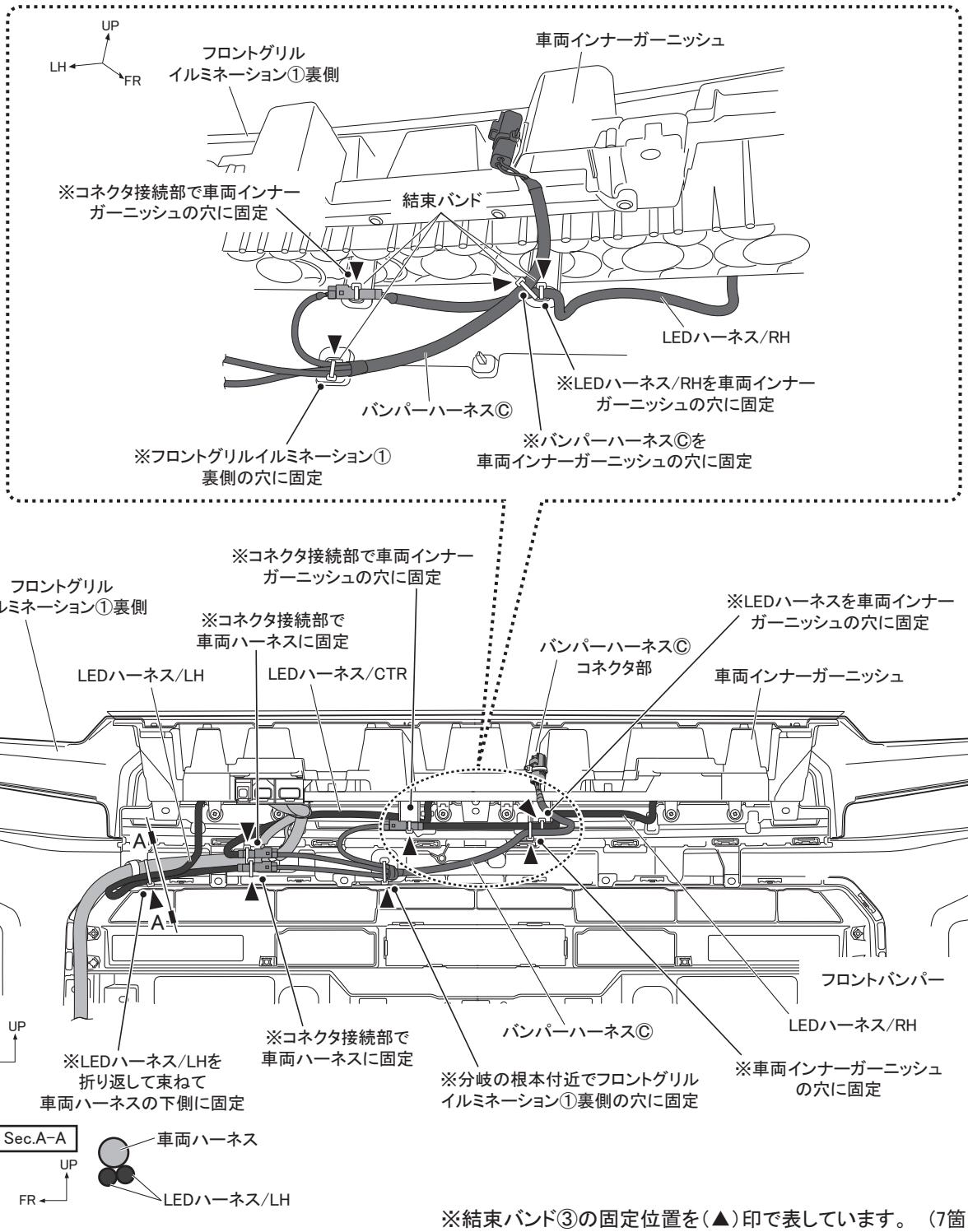
□ バンパーハーネスⒸの配線 -2

1. 図19のようにフロントグリルイルミネーション①裏側のLEDハーネスRH/CTR/LHのコネクタとバンパーハーネスⒸのコネクタを接続する。（3箇所）
2. 図19のようにバンパーハーネスⒸを下図の要領で配策し、余長を調整して結束バンド③で固定する。（7箇所）

⚠ **注意**: 結束バンド③にて固定する際は接続したコネクタ嵌合部で行ってください。
結束バンド③にて固定する際は、余長カット部がエッジにならないようにカットし、ほかの配線と接触しないように固定してください。

図19

フロントグリルイルミネーション①・フロントバンパー裏側視



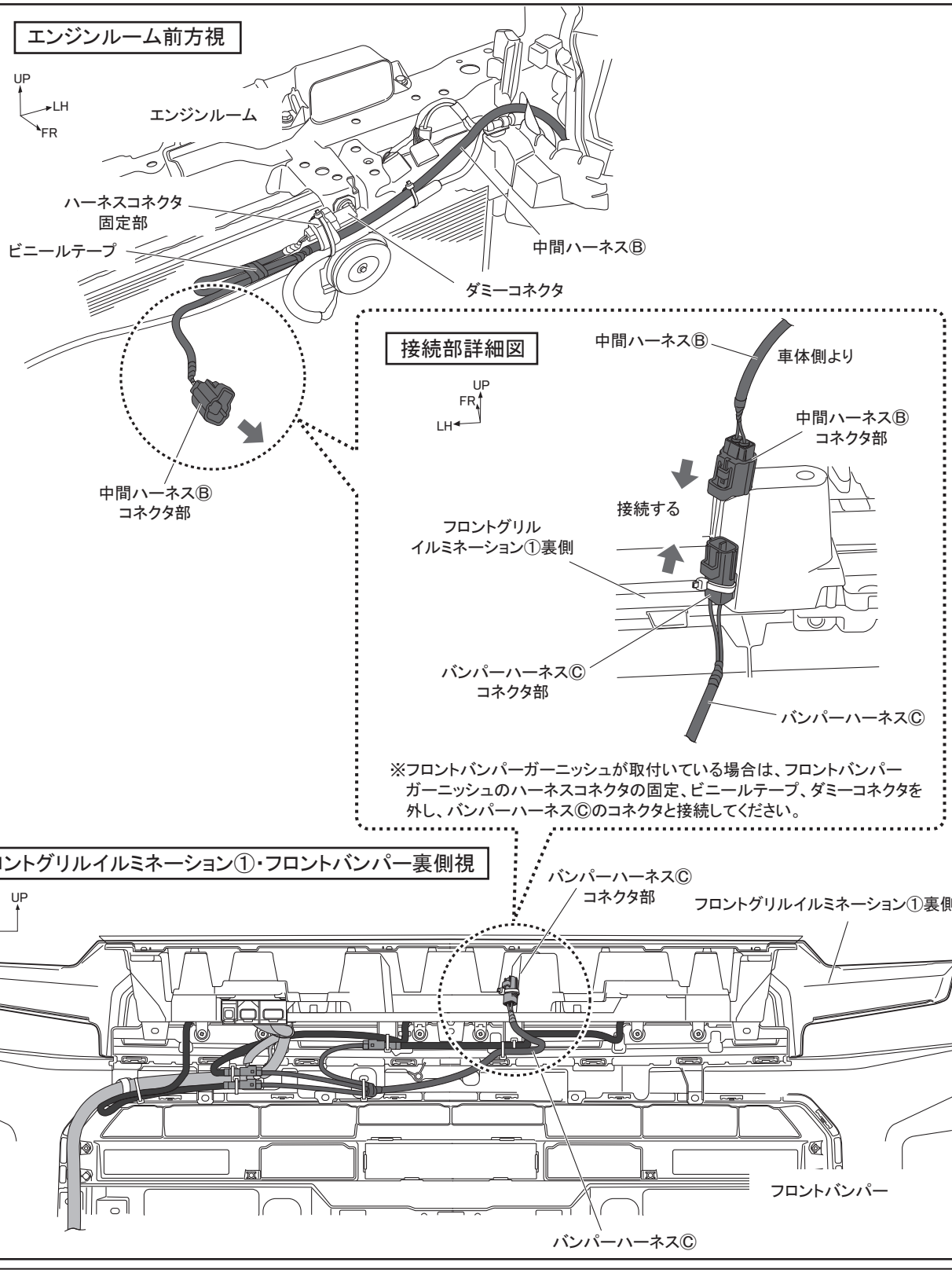
※結束バンド③の固定位置を（▲）印で表しています。（7箇所）

□ LED イルミネーションランプの点灯確認

1. 図20のようにフロントグリルイルミネーション①裏側のバンパーハーネスⒸのコネクタと車体側の中間ハーネスⒷを接続する。
2. バッテリーのマイナス端子を取付け、イグニッションONの状態にしてフロントグリルイルミネーション①LEDランプの点灯確認を行う。
   点灯確認後、イグニッションOFFにしてバッテリーのマイナス端子を外す。

⚠ **注意**：点灯確認の際、フロントグリルイルミネーション①、フロントバンパー及び車体に傷をつけないようにしてください。

図20

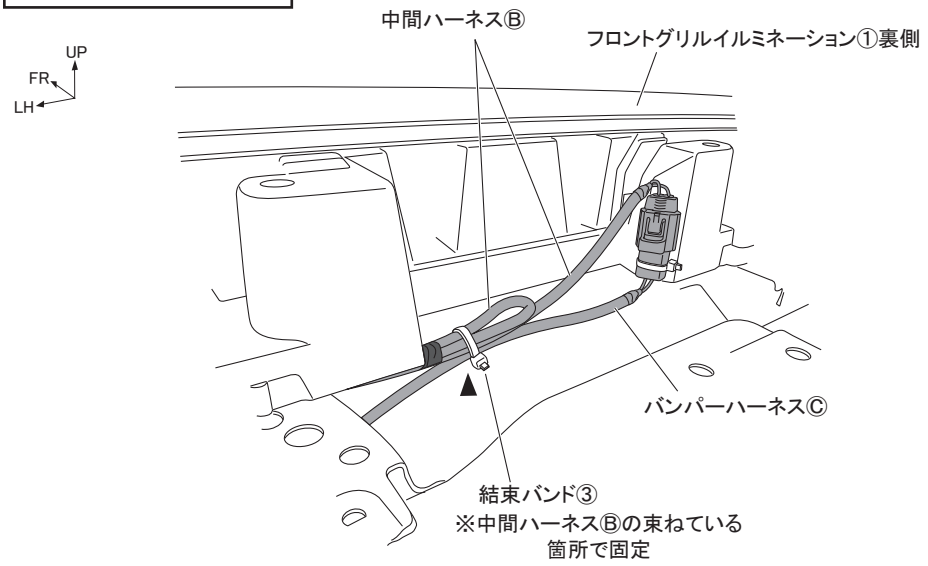


□ フロントバンパーの復元・バンパーハーネスⒸの配線 -3

1. フロントバンパーを車両へ復元する。
2. 図21のようにフロントグリルイルミネーション①裏側の中間ハーネスⒷとバンパーハーネスⒸの余長を調整し結束バンド③で固定する。

図21

エンジンルーム前方視



※結束バンド③の固定位置を（▲）印で表しています。（1箇所）

■ 取付け完了後の点検・注意事項

アドバイス:
・両面テープの接着力は安定するまで3～5時間程度必要です。
・商品の取付け後は、最低3時間程度、強い振動や風圧(車両の移動を含む)が、掛からないようにオープンタイム(静止時間)をお取りください。

⚠ **警告**:
・両面テープは十分に圧着してください。圧着が不十分な場合、浮き・剥がれ等の症状が発生し、脱落などの重大な不具合が発生する可能性があります。
・両面テープ接着後、24時間以内は雨・洗車等で接着部に水が掛からないようにしてください。
接着力が低下し、剥がれ・脱落等が発生する可能性があります。

■ LED イルミネーションランプ取付け後の確認・注意事項

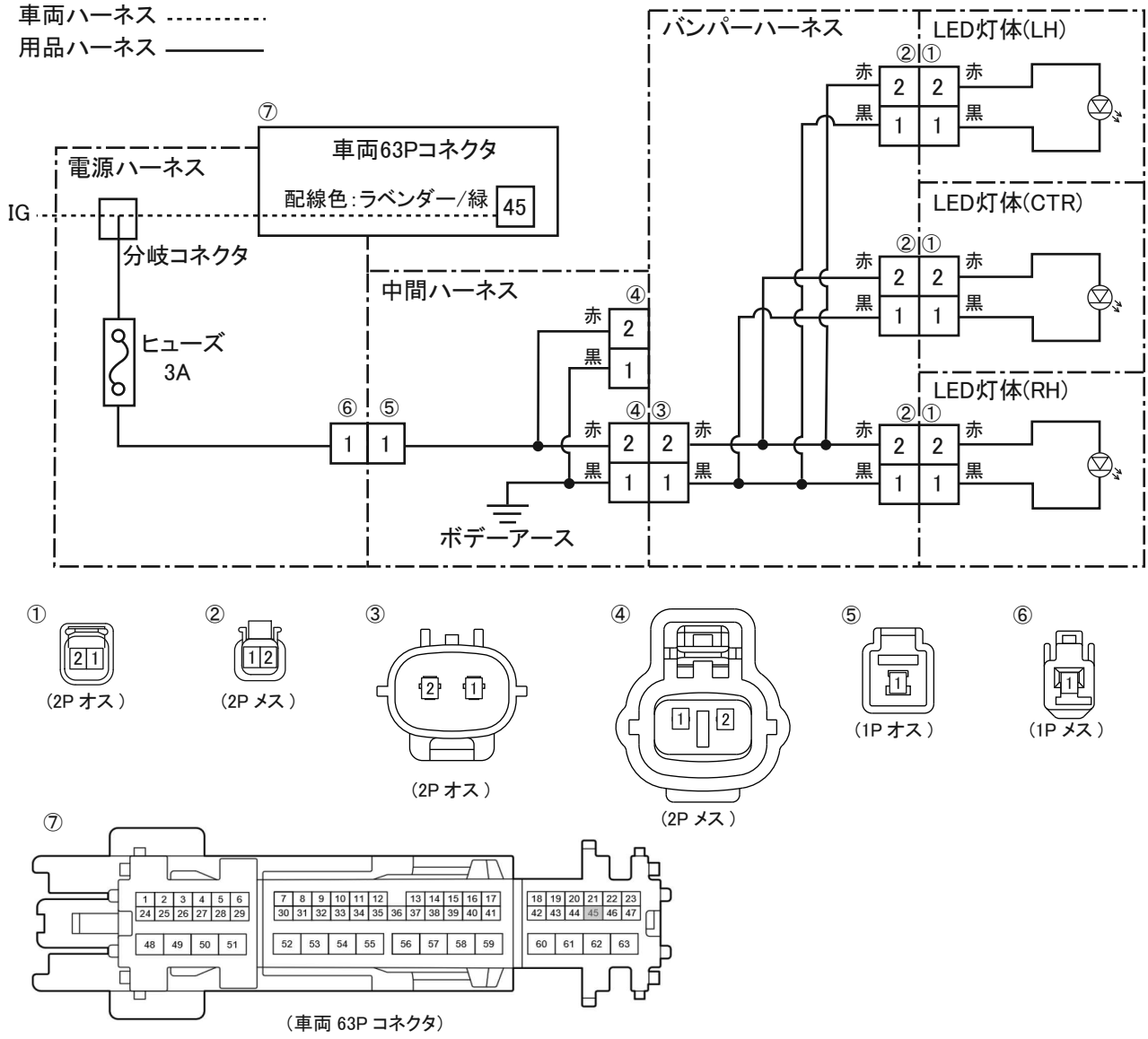
1. ハーネスに無理な力が掛かっていないか、噛み込みや鋭利なエッジに干渉が無いことを確認する。
2. イグニッションONの状態にしてLEDイルミネーションランプの点灯確認を行なう。

■ 取付完了後の点検・注意事項

1. 製品全周にわたり、浮き・剥がれ等、無いことを確認する。
2. 車両及びフロントグリルイルミネーション周りに傷が付いていないことを確認する。
3. 本取付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行なってください。

⚠ **警告**:
・分解・脱着した部位以外でも、周辺部品に触れて、ラジエータキャップのゆるみや周辺部品の変形などが発生することがあります。作業後は必ず確認を行なってください。

■ 配線図



コネクタ図(勘合面側視)

株式会社トヨタカスタマイジング＆ディベロップメント
MODELLISTA 商品問い合わせ窓口
TEL:050-3161-1000
https://www.modellista.co.jp/

脱脂作業要領書

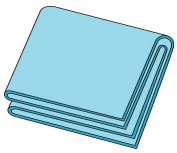
本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のＱＲコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

①エアロ取付準備・脱脂　　（約 3 分）
②エアロ位置決め・取付・圧着（約 6 分）
③デカール準備・水貼り・圧着（約 4 分）
合計　約 13 分

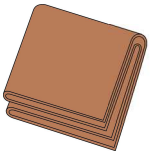
■　取付け時の脱脂作業に必要な工具等


水拭き用バケツ


合成セーム皮


脱脂剤用
スプレーボトル


ゴム手袋


DRY 用
ウエス


WET 用
ウエス


イソプロピルアルコール(IPA)
※純度 100%推奨

■　脱脂作業上の注意事項

1．ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2．隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等は行わないで下さい。
　※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3．脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4．脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5．脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

⚠注　意・・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

アドバイス・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。
下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。
大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。
脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。
≪脱脂作業前に≫以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■　脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
  汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
  ※コーティング剤が残っていると両面テープはハガレます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■　脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。

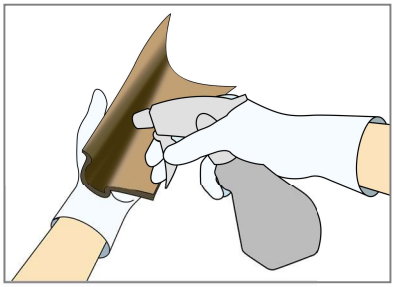

水拭き用バケツ


合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。


WET 用ウエス

※　ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。

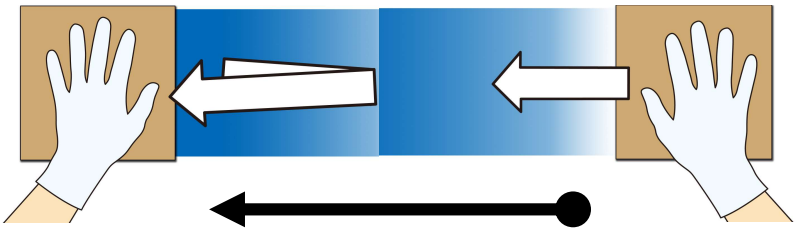


WET 用ウエスにスプレーボトルを５cm ほど離して、初回は１０回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。
以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で５回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】
脱脂剤を含ませたウエスで
１往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

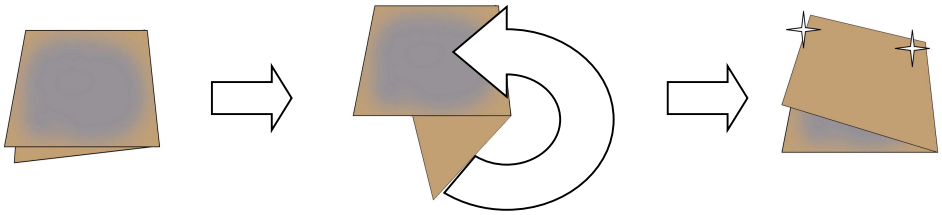
②【DRY 拭き】
DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



１ブロック６０ｃｍ程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。
範囲が広い場合は１ブロック毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる

WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。
（上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。）

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・ DRY 拭きを行ってください。



WET／DRY のウエス共に３～５ブロック毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。

汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。